

鎌田地区各所で文化祭



今年も多くの町会で文化祭が盛大に行われました。当日の様子の一部を紹介します。

今年の三月に竣工した五月町公民館で30年ぶりに文化祭が開催された。住民の手芸品や絵画などが多数出展され、プロ顔負けの展示品に来館者の多くが驚きの声を上げていた。歌謡ショーでは、自慢の声で詩吟やカラオケ、ハーモニカ、文化等の演奏が披露され、大きな拍手と喝采が沸いていた。

五月町町会

11/8(土) 9(日)

公民館2階で趣味の作品展、子どもの習字展、生け花展、福引が行われ、西光庵の宝物御開帳の間では大正琴の演奏発表など行われた。

屋外では農家組合の野菜市・おでん・綿あめ・フランクフルト、輪投げなどの出店が並び、子ども達と公民館長のじゃんけん大会、餅つき大会で大変な賑わいとなった。

征矢野町会

11/2(日) 3(祝)



高宮町会

11/3(祝)

住民や小中高生の各種作品展、民謡会の踊り、ハーモニカ合奏などの演奏、「粋な江戸しぐさ」の講話を聞き、現代にも通じる心得を学んだ。屋外ではたくさんのお店の出店が並び、フリーマーケットも開かれ大いに賑わった。



中条南町会

11/3(祝)

中条南町会の菊愛好家が、丹精を込めて育てた菊をはじめ、絵画や工芸などが展示された。歌を歌ったりおしゃべりをしたり、なごやかな雰囲気でご交流を楽しんだ。



南原町会

古城踊り、カラオケ大会も 10/26(日)



石芝町会

中学生による豚汁炊出しも 11/2(日) 3(祝)



鎌田町会

各種演奏も 11/16(日)



笹部町会

多彩な展示品 11/2(日)



井川城下町会

抹茶、豚汁も 10/26(日)



井川城中町会

中学生の吹奏楽 11/2(日)



井川城上町会

野菜、花、米など 11/8(土)



揮毫 伊藤茂男氏
鎌田地区
平成26年11月1日現在
世帯数 8,450 戸
男 9,699 人
女 9,315 人
発行者 西部公民館
公民館報編集委員会



地域にあるものを大切にする暮らし

鎌田地区に在住のすてきな女性 樋口有紀さんをご紹介します。

FM長野勤務で知り合った坂井氏との間に子ども二人、安曇野市三郷出身。

17年前に本郷公民館で託児付きのお菓子作り教室に参加して自由で新鮮な時間がとても楽しかった。ところが講師の都合でその日で終了と聞いてそれなら、と自分が主宰することにした。

その後、出生直後の次女の体に異変が見つかり経過を見ることになった。不安を抱えながらうつうつとした日々を過ごしていたが、ある日、鏡を見て愕然とした、そこには眉間にしわを寄せた太ったおばさんが映っていた。

こんなことを続けている訳にはいかないと強く反省し、以後健康に留意し自分を取り戻すことに努めた。すると子どもも元気に育つようになった。

同じような不安を抱えながら育児に追われているお母さんたちの助けになればとの思いで、10年余りお菓子作りや料理教室等を続けていた。

そんな時に起きた東日本大震災に衝撃を受け、生きている事が当たり前ではないのだと実感した。そして子ども達が安心して暮らせる地域社会を創ろうと思い、松本・安曇野のママ達のネットワーク『あぐる』を立ち上げた。

まずは被災地への支援として、陸前高田市の保育園にふとんが無いことを知り、3週間で200組を調達して送り届けた。また、現地で自分の持つ技術の温熱刺激療法も施術したりしたが、育児のこともあって断念した。

その後は「福島の子ども達を夏の安曇野に招待して楽しんでもらう」企画を実施している団体に賛同して、資金作りの為リメイクキャンドルのワークショップと販売をしている。

今年の夏で3回目の福島の子ども達は5~6家族20人程で、キャンプ、滝壺で水遊び、虫捕り、野菜の収穫など、元気よく体験して帰って行った。

「電気が無くても楽しめる生活ってあるのかな?」と思い、勉強を始めて、様々なことに挑戦して、子ども達と一緒に楽しんでいる。年間を通して無農薬の野菜作り、麴・味噌作り、おやき作りほか多岐に亘る。

電気もガス・灯油も使わず、枝や松ぼっくりを燃料とするペール缶製ロケットストーブのワークショップは実施後各方面から大きな反響を呼び、普及が進んでいるようだ。



ワークショップで作ったキャンドル



ガスも電気も使わないロケットストーブ



ひぐち ゆき 樋口 有紀さん 鎌田町会

すてきな女性

Kanada 鎌田でみつけた

「あぐる」代表 あぐる・自給自足のアグリカルチャーと大分県地方の方言で、人に物をあげる、国旗を掲げるの意味を持つ。

「議会を見に行こう」は安曇野市(実施済)、松本市、大町市、塩尻市を回る予定。「1番大切にしたいのは、地域に住む子ども達、だから今そこで何が行われているのかを知りたい」

最後に「少しの不便(面倒)を受け入れながら、常に工夫(知恵)で考える暮らしを大切にしていきたい」と語った。

この行動力の源は子ども達への深い愛と地域社会の仲間達の支えに違いないと思う。(取材 江守智加子)

Information

西部公民館大規模改修工事

西部公民館は今年で開館30年を迎え、今後も皆様が快適にご利用できますよう、現在改修工事を行っています。

●改修の主な内容

- ①エレベーター設置
- ②全館バリアフリー化
- ③太陽光パネル設置
- ④外壁面補修
- ⑤各部屋のリフォーム
- ⑥設備機器の更新
- ⑦夜間出入口を玄関ドア脇に新設



改修後はエレベーターを新設することで、車いすの方も2階の部屋まで不自由なくご



1F 和室を大会議室に改装している様子

利用いただけるようになります。また調理室の調理台が従来の3台から4台に増え、より多くの方が一緒に調理することができるようになります。その他、屋根の南面に太陽光パネルを設置、外壁や内部の補修など、より安心安全な公民館を目指しております。工事完了は平成27年3月末を予定しております。きれいで使いやすい公民館を楽しみにお待ちください。

Attention 西部公民館からのお知らせ

改修工事に伴い、11月初旬から工事完了までの間、西部公民館事務所は1階の会議室に移動しております。お越しの際は西部公民館南側通路奥の裏口をご利用下さい。公民館及び周辺施設をご利用いただいている皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解ご協力をお願い致します。